

令和元年6月24日

報道機関各位

土木部企画調整室

## 土木部総合パンフレット「いしかわの土木」について

石川県土木部では、R1土木部の基本方針や主要な事業、施策、成果を紹介するため、一般県民向けのパンフレット「いしかわの土木」を作成しましたので、お知らせします。

### ○配布先

- ・土木総合事務所
- ・県総合事務所 など

### 問い合わせ先

石川県土木部 企画調整室 中谷・清水  
電話 076-225-1709（内線 5029）

## 「いしかわの土木2019」の発行について

### 1 目的

石川県土木部の基本方針、施策、主要事業等について、県民等に紹介し、理解を得るために作成

### 2 作成部数

詳細版：1,500部、概要版：5,000部

### 3 主な配布先

県庁舎19階、土木総合事務所、県総合事務所、県内市町に配置（概要版のみ）

※詳細版は、県ホームページに掲載

### 4 内容

- ・令和元年度土木部の基本方針
- ・土木部各課の主な施策・事業の概要（詳細版のみ）
- ・平成30年度の主な成果、令和元年度の主要施設の完成予定
- ・数字で見るいしかわの土木

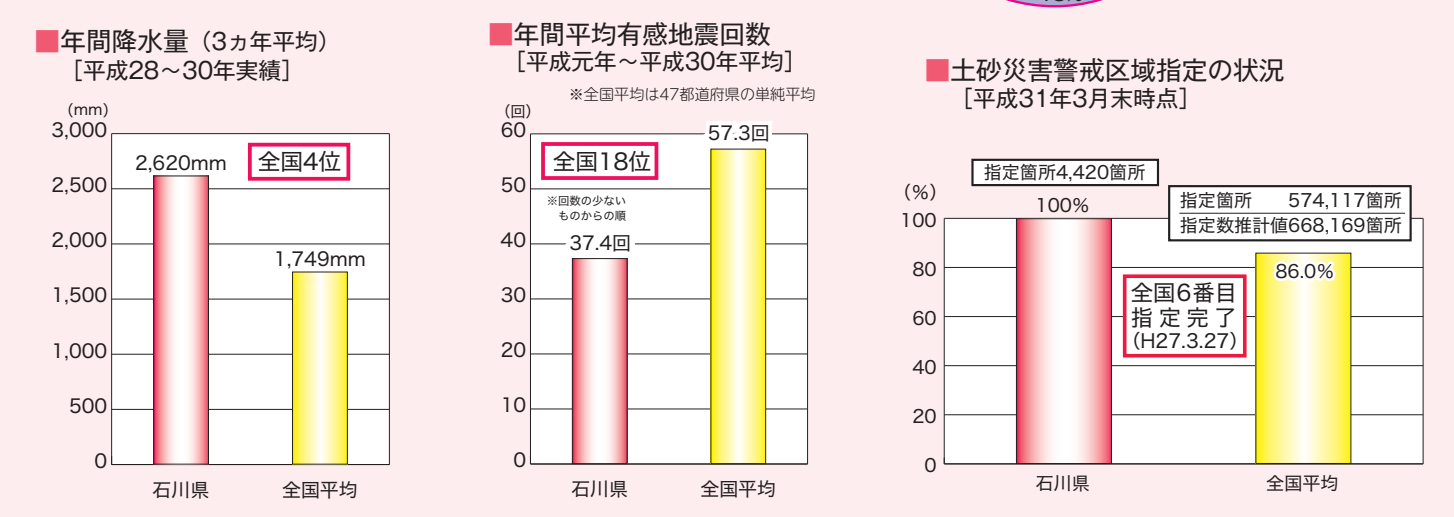
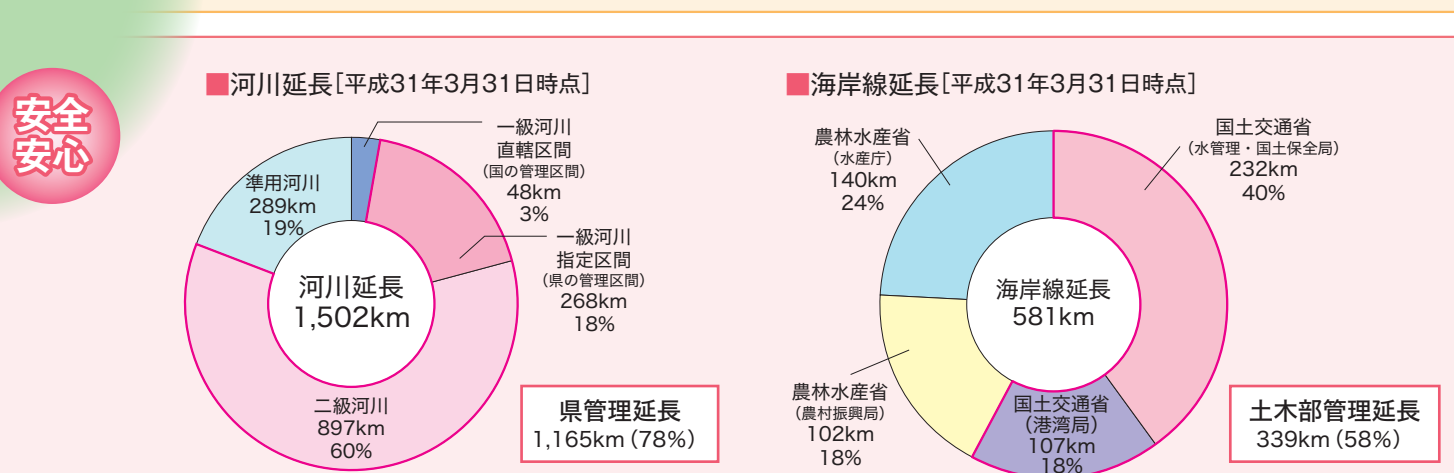
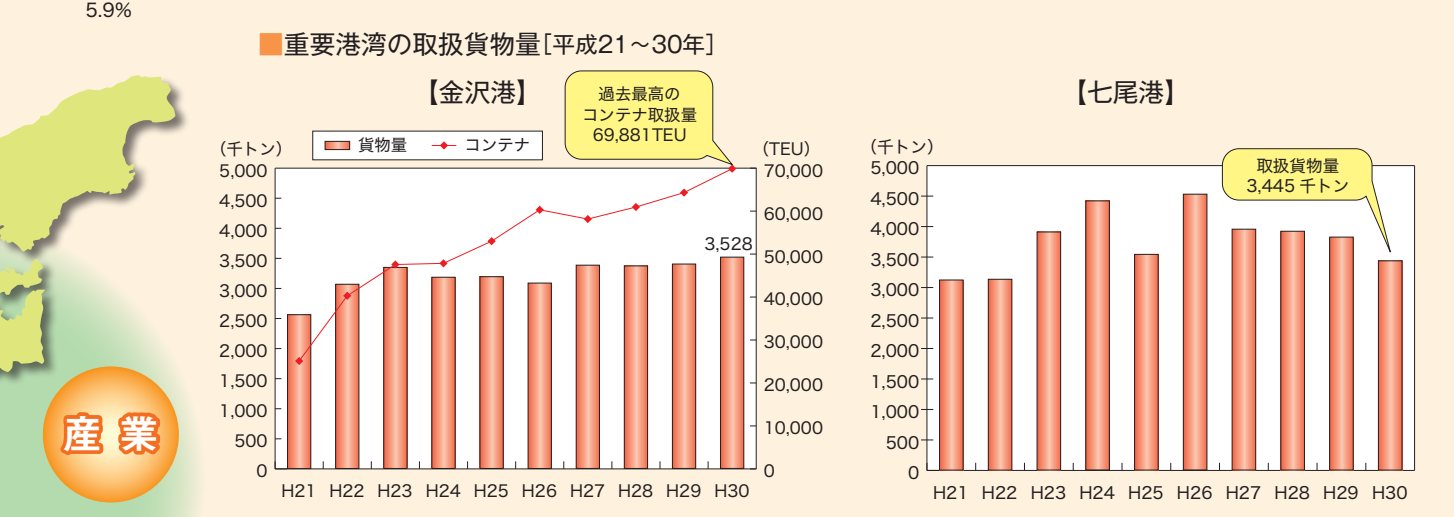
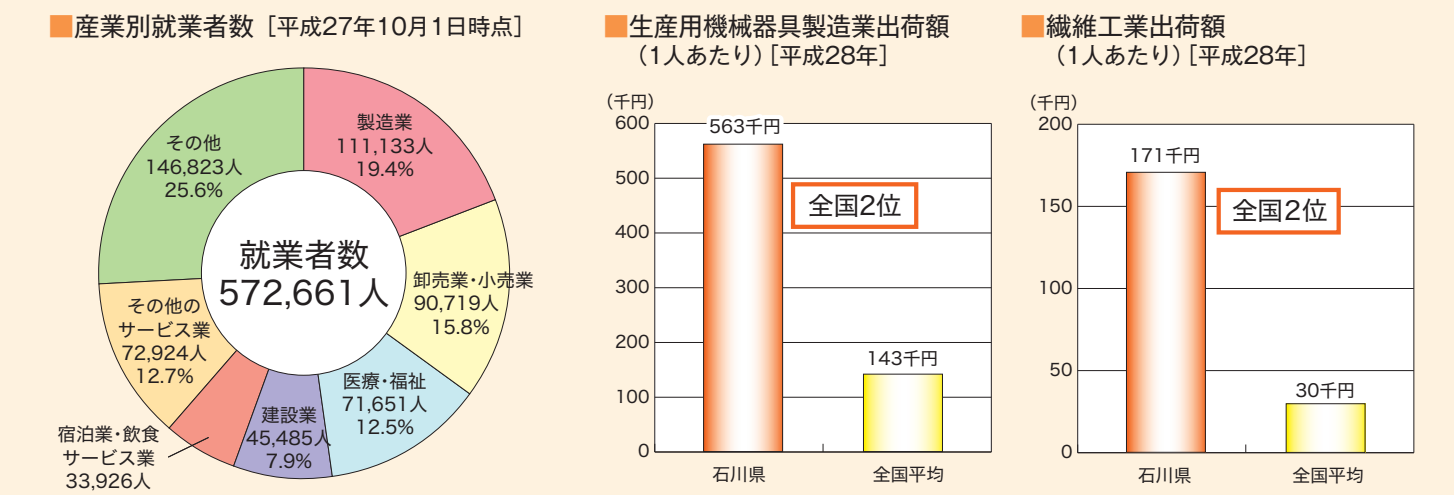
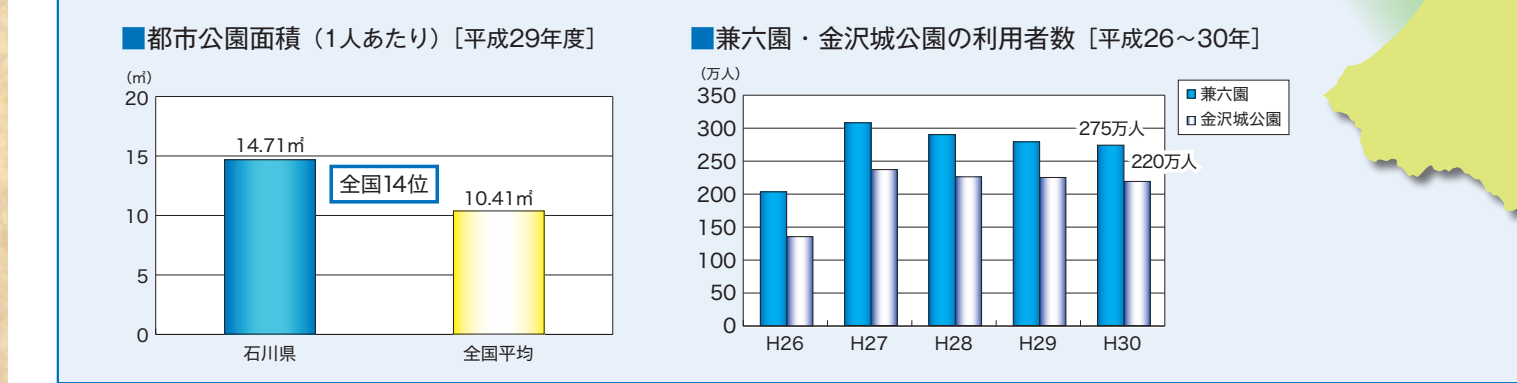
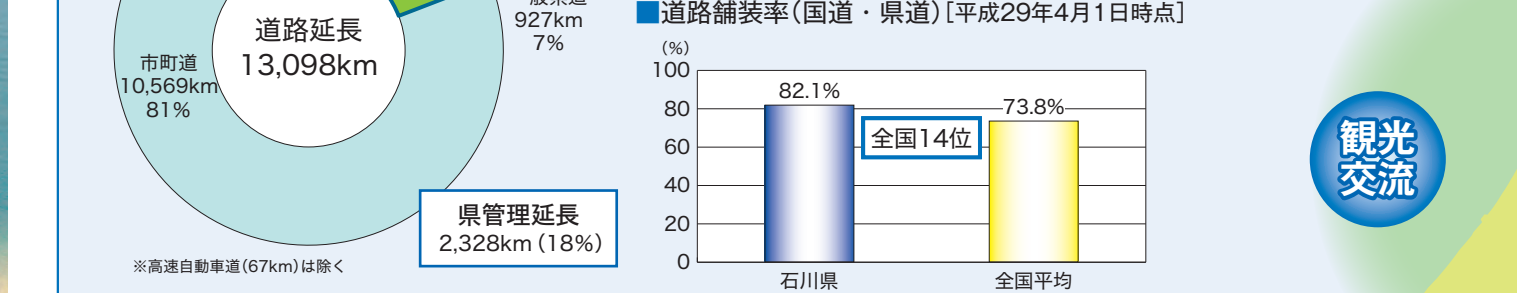
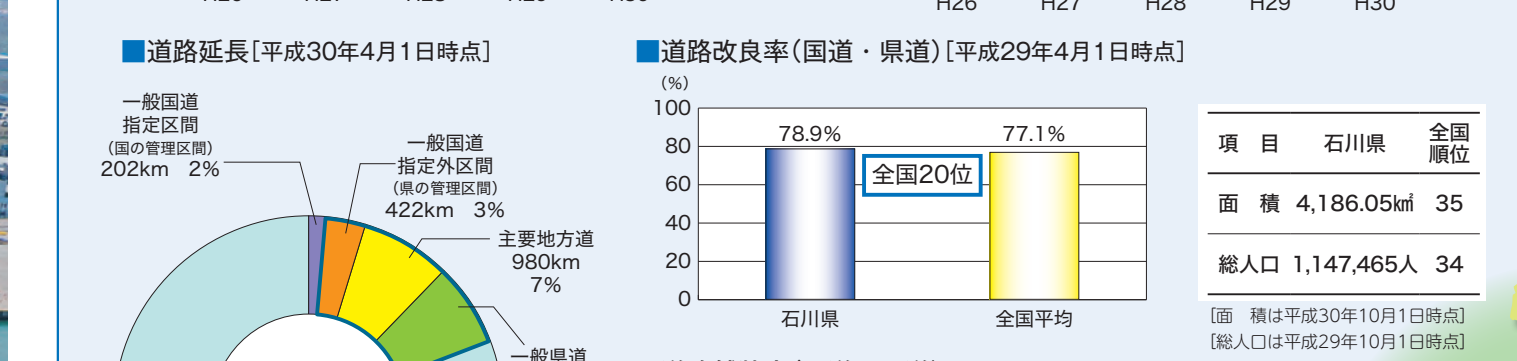
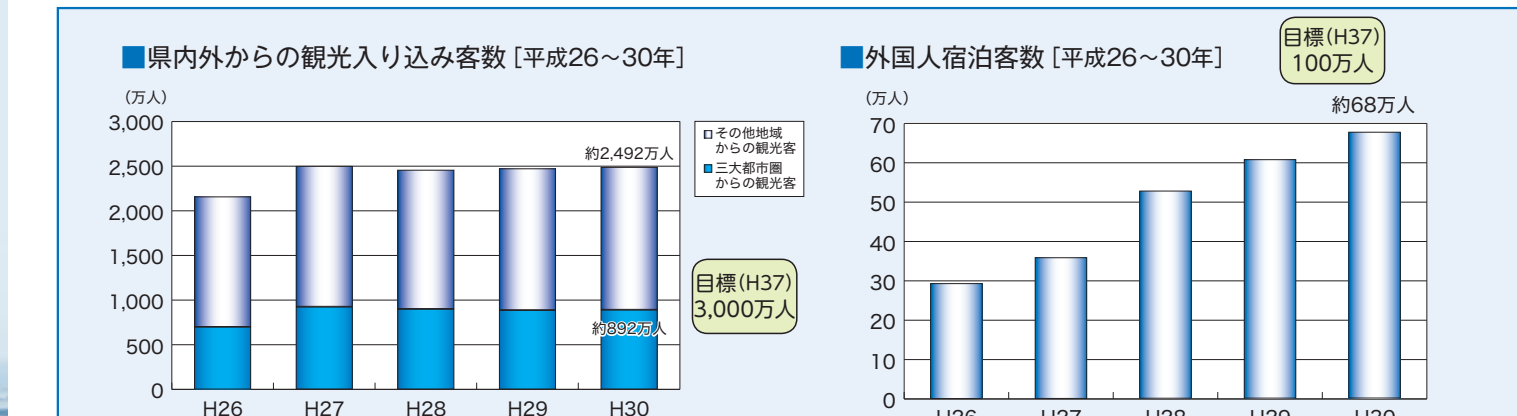
# いしかわの土木 概要版



# 2019

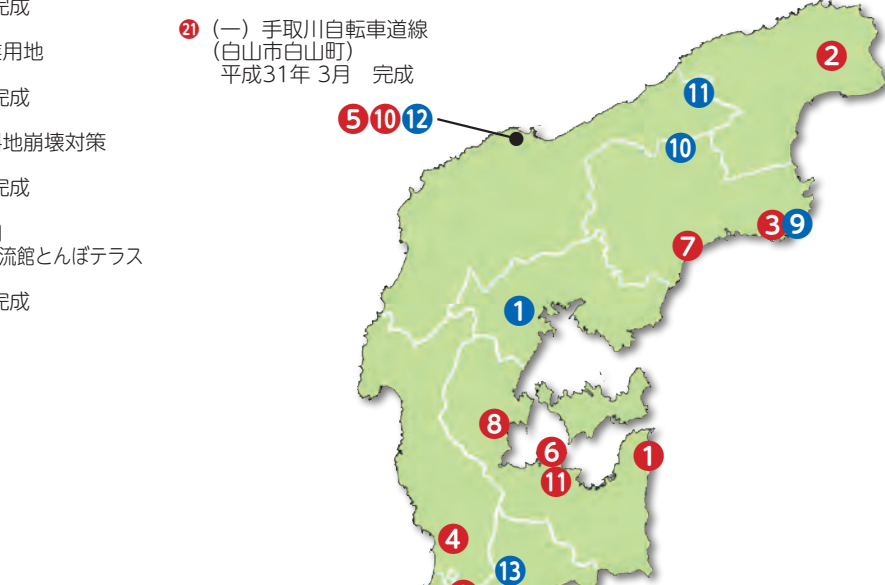
## 石川県土木部

### 数字で見るいしかわの土木



## 平成30年度 主な成果

- #### ■能登地区
- (一) 庵橋浦大田新線 (七尾市庵橋～江泊町) 平成30年5月 供用
  - 珠洲道路 (主)大谷狼煙飯田線 飯田工区 (珠洲市飯田町～野々江町) 平成30年7月 供用
  - (主) 能都内浦線 真輪トンネル (能登町真輪～小木) 平成30年11月 供用
  - (一) 羽咋田鶴浜線 (志賀町大坂) 平成31年3月 供用
  - (都) 金屋谷塚田線 無電柱化 (輪島市河井町) 平成30年5月 完成
  - (都) 湯元和倉温泉駅線 無電柱化 (七尾市和倉町～石崎町) 平成31年3月 完成
  - 柳倉1号通常砂防 (能登町藤波) 平成30年6月 完成
  - 笠節1号急傾斜地崩壊対策 (七尾市中島町) 平成30年12月 完成
  - 筈尾通常砂防 (羽咋市鹿島路町) 平成30年12月 完成
  - 岡本急傾斜地崩壊対策 (輪島市山岸町) 平成31年3月 完成
- #### ■加賀地区
- 南加賀道路 粟津ルート (小松市矢野町～矢野野町) 平成30年5月 供用
  - (都) 粟津街なか線 (小松市粟津町) 平成30年8月 完成
  - (主) 山中伊切線 塔尾バイパス (加賀市山中温泉四十九院町～塔尾町) 平成30年5月 供用
  - 三昧谷川通常砂防 (白山市月橋町) 平成30年7月 完成
  - 庄谷川通常砂防 (白山市月橋町) 平成30年10月 完成
  - 月橋2号急傾斜地崩壊対策 (白山市月橋町) 平成30年10月 完成
  - (一) 日末村松線 (小松市浜佐美町) 平成30年10月 供用
  - (一) 手取川自転車道線 (白山市白山町) 平成31年3月 完成
- #### ■金沢地区
- 金沢港 御供国際コンテナターミナル ガントリークレーン 2基目 平成30年4月 完成
  - 金沢港 東部工業用地 コンテナ上屋 平成31年1月 完成
  - 法島町2号急傾斜地崩壊対策 (金沢市法島町) 平成31年3月 完成
  - 奥卯辰山健民公園 奥卯辰山のびのび交流館とんぼテラス (金沢市若松町) 平成30年4月 完成



## 主要施設の完成予定 (令和元年度)

- #### ■道路事業
- (主) 穴水剱地線 穴水町大町～宇留地 L=1.1km
  - かほく東西幹線道路 (一)黒川横山線) 1期 かほく市松浜～宇気 L=0.9km (平成31年4月)
  - (一) 清水小坂線 金沢市小又町～牧町 L=0.7km (平成31年4月)
  - (都) 北安江八日市線 金沢市広岡町 L=0.4km (令和元年5月)
  - (都) 温泉中央南線 加賀市山中温泉こおろぎ町 L=0.2km
- #### ■公営住宅事業
- 鶴ヶ丘県営住宅 1号棟A 内灘町鶴ヶ丘4丁目
- #### ■砂防事業
- 小木元町急傾斜地崩壊対策 能登町小木
  - 小間生地すべり対策 能登町小間生
  - 広江急傾斜地崩壊対策 輪島市町野町
  - 夕陽ヶ丘地すべり対策 輪島市堀町
  - 長谷川通常砂防 中能登町小田中
  - 小坂川1号谷 金沢市小坂町
  - 三坂中通常砂防 白山市三坂町
  - 一ノ谷通常砂防 小松市麦口町
- #### ■港湾事業
- 金沢港 無量寺ふ頭 金沢港クルーズターミナル
- #### ■河川事業
- 鍋谷川堤防質的整備 能美市牛島町、小松市古府町 L=2.35km

(表紙写真) 上は「金沢港・大浜ふ頭(クルーズ船:フイーンエリザベス)」(北陸地方整備局 金沢港湾・空港整備事務所 提供)  
 左下は「かほく東西幹線道路1期(かほく市松浜～宇気)」  
 右下は「能登歴史公園(国分寺地区) 能登歴史公園センター・のと里山里海ミュージアム」

**石川県土木部企画調整室**  
 〒920-8580 石川県金沢市鞍馬1丁目1番地 TEL 076-225-1709 FAX 076-225-1714  
 ホームページ <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/>

編集発行 令和元年6月

# 令和元年度の土木部の基本方針

## 1 北陸新幹線金沢開業効果を持続・発展させる交流基盤の整備促進

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催や2023年春の北陸新幹線の県内全線開業を見据え、今後も、開業効果を持続・発展させていくため、道路や港湾などの交流基盤整備や観光客を迎え入れる魅力ある受け地づくりを進めます。

### ● 人・ものの広域交流の拡大

「ダブルラダー輝きの美知(みち)」構想に基づき、県土を隈無く網羅する幹線道路網の形成により、人やものの交流の拡大を一層盛んにしていくため、金沢外環状道路海側幹線をはじめ、のと里山海道の4車線化や加賀海浜産業道路の整備など、広域交流ネットワーク道路の整備を着実に進めます。

また、クルーズ・貨物両面での金沢港の拠点港化に向け、クルーズターミナルの建設などの機能強化整備を進めるほか、七尾港の国際物流拠点化を推進します。



### のと里山海道4車線化

- ・柳田IC～上棚矢駄IC間4車線化の整備促進
- ・(2020年春上棚地内3.4km供用)



### 金沢港の機能強化 (2020年春完成)

- ・クルーズ乗船客の利便性向上
- ・増加するコンテナ貨物の荷役作業の効率化



### 加賀海浜産業道路

- ・手取川架橋区間の整備促進 (2022年度完成)
- ・白山市小川町～川北町橋間の整備促進

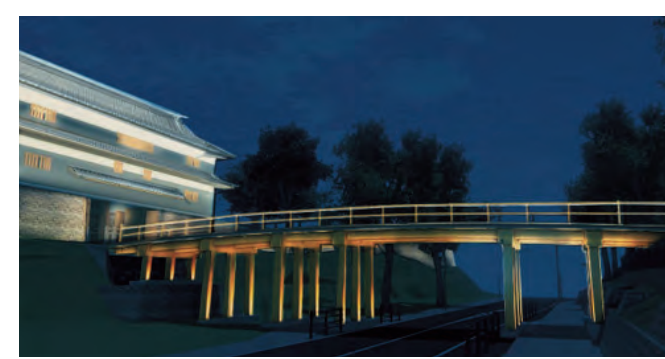


## ● 県土の魅力づくり

金沢城公園における鼠多門・鼠多門橋の復元整備など第三期整備を進めるほか、主要観光地の無電柱化など、風格ある歴史・文化的空間の創出を図ることにより、観光客を迎え入れる魅力ある受け地づくりを進めます。

**金沢城公園の魅力向上**

- ・鼠多門、鼠多門橋の復元整備を推進
- ・加賀百万石回遊ルートの魅力向上



**無電柱化を核とした街なみ景観の向上**

- ・無電柱化にあわせ、沿道建物の保全や修景、屋外広告物の整理統一、舗装や照明などの修景を実施



## 2 県民生活の安全・安心の確保

地震やゲリラ豪雨など、近年多発する大規模災害を踏まえ、県民の安全・安心を確保するための防災・減災基盤の充実・強化に取り組み、災害に強い県土づくりを推進します。

### ● 緊急輸送道路の機能強化

地震等による大規模な災害が発生した際に、救命活動や物資輸送を行うための重要な道路である「緊急輸送道路」において、橋梁の耐震補強や法面の落石対策を進めます。

**緊急輸送道路の機能強化**

- ・橋脚のコンクリート巻立てなどによる橋梁耐震補強の促進
- ・落石防護柵や法枠工などによる法面落石対策の促進



## ● 水害・土砂災害対策の強化

頻発する集中豪雨に備え、浸水被害が多発している河川の改修や即効性のある堆積土砂の除去、要配慮者利用施設周辺での土砂災害対策を重点的に進めます。

**水害対策(河川の改修や堆積土砂の除去)**

- ・堤防整備や川幅を広げる河川の改修や、河道断面を確保し流下能力を回復させる堆積土砂の除去を実施



### 土砂災害対策

- ・要配慮者利用施設が立地する箇所を重点的に整備



### ● 公共土木施設の長寿命化対策

多くの公共土木施設が今後、急速に老朽化することが懸念されるため、これまでの壊れたら直す「事後保全型」補修から、小規模な補修を計画的に繰り返す「予防保全型」補修に転換し、道路構造物や河川管理施設等のインフラ施設の戦略的な長寿命化対策に取り組みます。

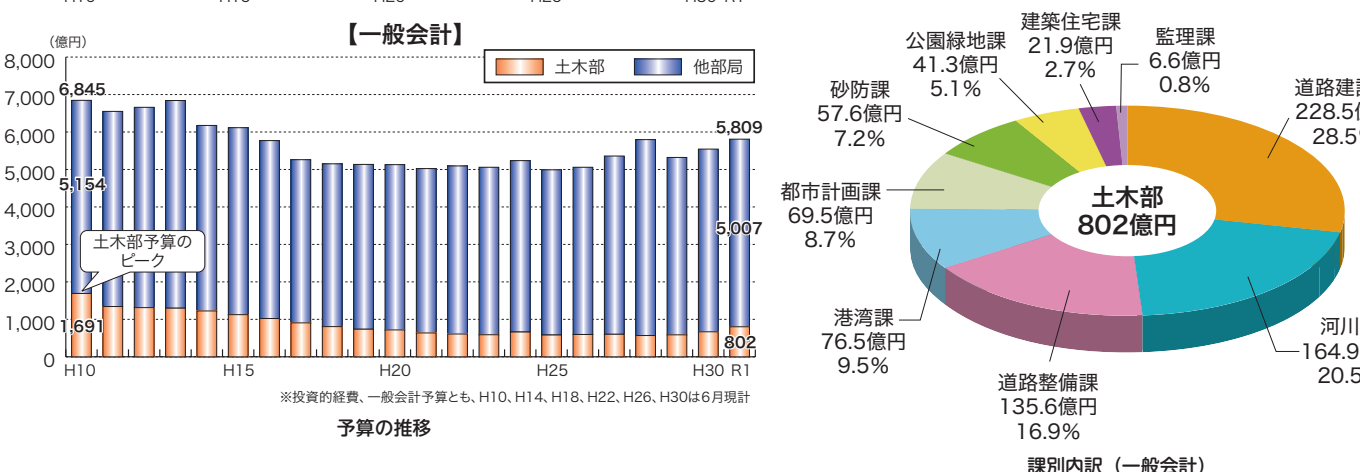
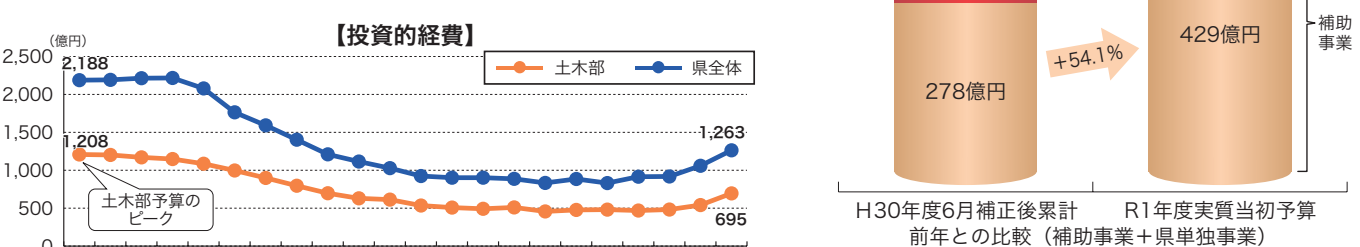


## 3 公共投資の確保と建設業の経営基盤強化

本県の建設業は、地域の社会資本整備を担うだけでなく、災害時の緊急対応や冬期の道路除雪など、地域の安全・安心に大きく寄与するとともに、地域の雇用を支えるうえでも基幹的な役割を果たしています。県としては、積極的に事業量を確保するとともに、端境期でも切れ目なく対策を講じ、地域経済を支えています。さらに、建設業の担い手確保にむけて幅広い年代への入職PRを行うとともに、ICT建設機械の活用や働き方改革に向けたセミナーの開催など、引き続き、建設業の経営基盤強化にも取り組みます。

### ● 令和元年度 土木部予算

令和元年度の予算については、平成30年度3月の国補正予算を含む実質当初予算として、802億円(対前年比+20%)を確保しました。投資的経費については、695億円を確保し、県が主体的に取り組むことのできる補助事業や県単独事業ベースで588億円(対前年比+31%)と、積極的に事業量を確保しました。



### ● 建設業における担い手確保・育成に向けた取り組み

建設業の担い手確保に向けて、業界団体と協力して大きく3つの取組を行っています。

**建設業の魅力発信**

大学・高校・小中学校など幅広い年代を対象としたPR活動を実施しています。

**労働環境の改善**

ICT建設機械の活用やいしかわ土日お休みモデル工事など労働環境の改善に取り組んでいます。

**発注者(行政)における業務改善**

受注者の担い手確保に向けて発注者側の業務改善に取り組んでいます。

高校への訪問

現場見学会

従来施工

ICT施工

法面の傾きを確認する作業が必要

自動制御

高精度

チェック不要

ICT建設機械の活用